



R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

2007～2008年度テーマ ROTARY SHARES — ローターは分かちあいの心 —
2007～2008年度 R.I.会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

SASEBO WEEKLY

会長・大神 邦明 幹事・中村 徳裕
事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場・佐世保玉屋8階（毎週水曜日） TEL 0956-23-8181

平成 19 年 8 月 29 日 第 2,806 回例会 NO 8

《本日》会員数 81 名 (出席免除会員 23 名) ・出席 50 名 ・免除者出席 11 名 ・欠席 8 名 ・ビジター 2 名 ・出席率 75.30%

《前々回》会員数 79 名 (出席免除会員 23 名) ・出席 51 名 ・メークアップ 5 名 修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 大神 邦明 君

人口減少について、以前、十八銀行の宮原さんが卓話された続きです。

2005年を基準として、23年後の2030年には

長崎県	147.4万人	→115.3万人	- 22.1%
佐世保市	25.8万人	→ 20.7万人	- 20.0%
長崎市	45.5万人	→34.57万人	- 24.0%
諫早市	14.4万人	→ 12.7万人	- 12.0%
大村市	8.8万人	→ 9.58万人	+ 108.8%
宇久町	0.324万人	→0.0975万人	- 70.0%

まずは地域力を高めなければなりません。皆様お考え願います。

福岡市では、2005年140万人、2030年154万人の10%増です。地方中核都市は各地方で増えるとの事です。

例会記録

- ロータリーソング「それでこそロータリー」
- ビジター
 - 大分キャピタルRC 大鶴 純二 君
 - 長崎南RC 木脇 淳 君
- 長崎国際大学RAC
 - 会長 高畑 将吾 君
 - 幹事 堀川 賢太 君
 - 会計 近藤 澄子 さん

幹事報告

幹事 中村 徳裕 君

1. 台南ロータリークラブ

会員名簿送付のご案内
全会員のセルフボックスに入れております。

2. 直前ガバナー

田口 厚 君

前地区幹事

吉田 正和 君

直前ガバナー事務所8月末日閉鎖のお知らせ

3. 第2740地区社会奉仕委員長 緒方 信行 君

社会奉仕委員会の活動状況のアンケートのお願い

9月14日(金) 締め切り

4. 第2740地区ガバナー

野口 清 君

2007～2008年度 第2740地区

地区大会のご案内

ゴルフ大会 10月27日(土) 7:35スタート
大和不動CC 登録料 5,000円

囲碁・将棋・麻雀大会

10月27日(土) 9:00～

ホテル龍登園 7,000円

会長代理歓迎晩餐会

11月16日(金) 17:30～

ホテルニューオータニ佐賀

16,000円

会長・幹事会 11月17日(土) 10:00～12:00
佐賀市文化会館

各種委員会 11月17日(土) 11:00～12:00
佐賀市文化会館

地区大会 本会議〔記念講演 五木寛之氏〕
11月17日(土) 12:30～17:30
佐賀市文化会館
本人 10,000円 家族 5,000円

懇親会 11月17日(土) 18:30～20:00
ホテルニューオータニ佐賀
本人 6,000円 家族 5,000円

地区大会 本会議
11月18日(日) 8:30～10:30
佐賀市文化会館

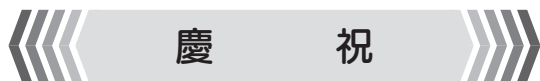
特別企画ロータリー寄席
11月18日(日) 10:45～12:15
佐賀市文化会館

新世代の集い
11月18日(日) 9:30～10:30
佐賀市文化会館
新世代 5,000円

新世代懇親会
11月18日(日) 12:30～13:30
佐賀市文化会館

5. 国際ロータリー

rotarian 9月号



親睦活動委員会 委員長 加納洋二郎 君

○今月の誕生祝い

溝口 尚則 君 (4日)
橘高 克和 君 (8日)
松尾 慶一 君 (11日)
田中 龍治 君 (11日)
武田喜一郎 君 (15日)
玉井 晃 君 (16日)
副島 正義 君 (27日)

出席委員会 田中 龍治 君

○出席100%表彰

立石 徳雄 君 (29回)
安福鴻之助 君 (29回)
菅沼宏比古 君 (10回)
玉井 晃 君 (4回)

親睦活動委員会 幸良 秋夫 君

○結婚記念月のお祝い

松本 英介・澄子 様ご夫妻 (5日)
玉野 哲雄・貞子 様ご夫妻 (13日)



親睦活動委員会 平尾 幸一 君

中川内眞三 君

8月17日、アメリカ・ミシガン州プレイウェルRCにてメイクアップしてきました。当クラブと雰囲気はかなり違いました。入口で私をテーブルへ案内してくれた人(半ズボン、Tシャツ姿)は、ホテルのボーイと思っていたら、その地区(6360地区)のガバナーでした。当日は、ガバナー公式訪問日でした。

追伸：ちなみにそのクラブの会長は、金髪ロングの30代の女性でした。

平尾 幸一 君

睡眠時無呼吸症候群の市民公開講座が、9月15日にアルカスSASEBOで開催されます。いびきがひどい方、メタボリックの方は是非ご参加ください。(無料です)

加納洋二郎 君、木村 公康 君

福田 金治 君、米倉洋一郎 君

川富 正弘 君、平尾 幸一 君

山縣 義道 君、吉富 誠也 君

出田研吾さんの卓話を楽しみにしています。

中村 徳裕 君

長崎新聞佐世保支社長 出田研吾さんの卓話に期待して。

本日の朝刊に、小社にて出版した「米海軍

軍用犬訓練士がまんがで教える愛犬の育て方」について、詳しい記事を掲載して頂きました。本日発売の本です。ありがとうございました。

田中 龍治君、橋高 克和君

副島 正義君

誕生祝いありがとうございました。(先週欠席しましたので。)

松本 英介君、玉野 哲雄君

結婚記念月のお祝いありがとうございます。

◇

ニコニコボックス	本日合計	17,000円
	累計	241,000円

ロータリー3分間情報

会員増強委員会 富永 雅弘君

「地区内 会員増強成功事例
(2006~2007)」



○佐賀南RC (6名増)

目標数を設定し、毎月の会合で達成状況を報告しながら、会員全員で問題意識と情報を共有し、会員拡大に努力した。

女性会員の入会を理事会で決定し、複数の会員候補者に対して地道に勧誘した。

○大村RC (4名増)

CLPに基づき、会員組織委員会を設置して、会員拡大・会員増強・職業分類・ロータリー情報の各委員会を統合して連携を持って拡大に臨んだ。

入会3年未満の会員を対象に、ロータリーの夕べを開催し、情報の提供、意見交換、親睦を行い、会員の定着を図った。

卓 話

『出版広告(サンヤツ広告)

について』



会員 出田 研吾君

(長崎新聞 佐世保支社長)

◆サンヤツ規定って何?

サンヤツ、又はヤツワリもしくはヤツ、新聞1ページ15段のうちの3段を1/8に割ったもの。

基本的には新聞の1面に掲載される書籍用の広告スペースです。兄弟分にサンムツがあります。こちらは雑誌用のスペース。

出版社の宣伝担当はこのサンヤツを「どうやって目立たせられるか」を日夜考え続けています。何しろ朝日新聞のサンヤツは1本で100万円。軽自動車を買える値段なのです。しかし、このスペースが一筋縄ではいけません。文字の大きさから組み方、約物、罫線まで規制でがんじがらめ、つまり買ったつもりスペースなのに好き勝手にできないのであります。

ヤツワリの2分子持ち罫で囲われた枠内が最小の1倍扁平文字換算で天地46文字、左右16行です。単純にすき間なく組んだとして、736文字しか入りません。ということは朝日のヤツワリで考えると1文字1,380円。じゃあ行間をあけるといくらになるというより無意味な空白、冗長な文章は金銭的にも本当に無駄なんだ。なんてことを思いつつ、ヤツワリにご注目ください。

探書の楽しみの一助となる小スペース広告を詳しく見る楽しみが深まると思います。

◆こだわりの位置

新聞1面のサンヤツは色々出版社のこだわりを読み取れます。そのわかりやすい例が位置。その掲載位置で一番有名なのは岩波書店の右端必。歴史の話になりますが、サンヤツが朝日新聞に初登場するのは昭和22年9月8

日。ただし、この頃の新聞紙面は16段制で現在の15段制になったのは昭和26年1月1日から。この2回にわたる初めての出稿のサンヤツとともに右端に掲載されていたのが岩波書店でした。理屈抜きに「岩波書店の右端必」には歴史があります。その他指定席が決まっている出版社は講談社の左端、新潮社の右から4番目、角川書店の右から3番目、みすず書房の右から2番目などがあります。

もともとサンヤツの掲載順位は、広告される本の内容が堅いものから柔らかいものへ、大人から子供へ、男性から女性へという流れがあって、右位置は堅い出版社の定位置なのですが、右端にしても左端にしても物理的に1枠しかありません。そこに何本も申し込みがあったりするので、この交通整理も新聞社にとっては大変です。

さらにこだわりは、社名のレイアウトにも端的に現れます。真似をしている社が多いのが講談社の社名の下に二部無双罫の中央を三角に切っている意匠。活版組み版で可能な組み方としてなかなかの工夫なのであります。

さらに変わらぬ意匠で目に付くのが社名を二分子持ち罫で囲んだ新潮社。サンヤツの掲載基準の中の「文字・罫を極端に意匠化してレイアウトすることはできない」という規制の中での意匠化ですから、大変だとは思いますが、独自の意匠を作り出し、使い続けるというのも出版社イメージの定着につながるひとつの広告戦略だと思います。そんなことを気にしながら、この小広告の宇宙に分け入ってみてください。「ホー」というこだわりを見つけることが出来るでしょう。

◆バイブル本に鉄槌を！

平成17年4月19日付の朝日新聞夕刊1面トップで「ガンに効くアガリスク」などの広告をしたとして、東京都港区の「史輝出版」を薬事法違反の疑いで家宅捜索と報じられた。出版物の内容を広告と見なして捜査対象とするのは極めて異例だとしている。けれども問題は「アガリスク」や「史輝出版」だけでしょうか。売らんかなの、良いことだけを書いた商品パンフレットと思える、いわゆる「バイブル本」は昔からいろいろあって最近では健康ものが圧倒的だけれど、お墓や住宅関連書などもあるみたいです。

で、「史輝出版」だけ捜査の対象っていうだけで不掲載でしょうが、他のバイブル本は掲載し続けるのもおかしくありませんか？一つにはお金のため、何しろほとんど定価で出てきます。ただ新聞社を一方的に責められないのは、出版社側もサンヤツを頼まれてもなかなか出さなくなってきた、そこに料金的にうれしい申し込みがくるものだから、新聞社もついパクッと頂いてしまう図式のようなのです。しかし本来8本揃えなければ成立しないサンヤツは足りなければ送稿当日まで走り回って集めなければならなかったもの。どうしても足りなければタダでも仕方ない世界だったのに、どんどん申し込みが増え、放っておけばバイブル本だけで一面が埋まってしまう状態になったのです。そういう中でバイブル本を掲載しない方針を打ち出した新聞社が2社あります。

両紙ともこれによって売り上げがウン千万減ります。しかも両社の出版担当は足りないサンヤツを求めて走り回らなければなりません。

<p>講談社</p> <p>新しいDNA その解き方と考える方法</p> <p>CD-ROMで自宅で夏期講習! Podでリスニング</p>	<p>親子で取りくむ 危機管理マニュアル!</p> <p>50の方法 犯罪から子どもを守る</p> <p>50の方法 地震から子どもを守る</p> <p>ブロンズ新社</p>	<p>自由宗教の道 不思議な記録</p> <p>全20巻</p> <p>自由宗教一神会出版部</p>	<p>めざせ、 マオイルネー!</p> <p>吉水弘行</p> <p>太陽社</p>	<p>世界が キューバ 医療を 手本にするわけ</p> <p>吉田太田(長野県農業大学校)著</p> <p>太陽社</p>	<p>幻冬舎</p> <p>悲望 小谷野敦</p> <p>幻冬舎</p>	<p>古本屋を 怒らせる方法</p> <p>ランシエール</p> <p>ベルグソン全集</p> <p>白水社</p>	<p>岩波書店</p> <p>城山三郎の遺志</p> <p>佐高信編</p> <p>岩波書店</p>
--	---	--	--	---	--	--	--

ん。いやー正しいことを貫くのは大変なのであります。

◆8本集めの苦勞？

サンヤツという規格は8本集まらないと形になりません。各新聞社の出版担当は最後の1本を求めて、出してくれそうな出版社に目星をつけて走り回ってことになるのですが、これがなかなか大変なのであります。

自社発行の書籍で埋めたとしても、それでも最後の1本がなかなか決まらず、いつも大変なので7本で掲載した新聞社がありました。

1本1本の間隔を空けて7本というわけではなく、左右に企画・タイトル・読書の標語を入れた小枠を構え、スペースの員数合わせをしていました。掲載されたときはよくやった！という賛辞がほとんどだったようですが、その後この企画は定着しませんでした。今では別の新聞に受け継がれ、7本立てのサンヤツが毎月1回掲載されているようです。ちなみにこの新聞は宮崎日日新聞。どちらにしても新聞社の出版担当が苦勞する最大点が8本でなければならないこと。足りなければ大変だし、多くても困ります。足りないと思っただけで駆けずり回り、ようやく8本揃ったと思ったら、2日前に頼みにいったときは駄目な対応だったのに、急に「OK」の返事をくれる出版社があったり、そういう時に限って、これまでさんざんお願いしていたにもかかわらず、なかなかプロモートしてくれなかった広告代理店からオーダーがあったりするものようです。そうすると仕方がないから近い日にちでもう一度サンヤツを建てざるを得な

いなんてことになるのであります。余ると、もっと足りなくなるという悲劇もあるんですね。出版社側も、最近是一段と広告費が絞られて、サンヤツが気楽に出稿できなくなっているようです。たしかに本が売れなくなってきたのが最大の問題点でしょう。

◆サンヤツ規定

基本的にヤツワリの規制は新聞社がしているもの。明朝5倍、ゴシック3倍、罫を意図的に使うな、斜めに組むな、罫を囲み罫にくっつけるな。書き文字、ロゴ白抜き、アミ全て御法度。

サンヤツは、規制が厳しい。厳しいのは、基本的に1面に掲載されるから「紙面の品位を損なわないように」というのが新聞社の言い分。だから、文字も、記事部分で使われている文字と同等の太さまでとされています。

とにかくそういう「決め」になっています。出版社の宣伝担当も広告会社の出版担当も、新聞社の広告部員も知っていなければいけなかったのに、いつの間にか詳しい人が少なくなっているようです。

◆費用対効果って？

最近、各出版社の広告予算が厳しくなっている。地方紙に出稿しようとする担当者になると「費用対効果はどうなんだ」という天の声が聞こえてきたりします。

確かに効率は悪い。それは費用に対してではなく、部数に対しての効率なのですが、800万部発行の新聞に広告しても、20万部の新聞に出しても、手間は一緒。ブロック紙を



含めて全地方紙に出そうと思ったら、対象はほぼ40紙です。同じ100万円だったら、40紙より1紙の方が手間は少ないが、40紙の合計部数は1700万部を超えます。と考えると、あとは、料金的に納得できるかどうかです。

一般的に、出版社の宣伝予算は新刊の部数×定価の10%から8%、または、年間生産金額の定価ベースで5%から3%とかに設定します。

さて、定価2,000円の新刊を4,000部、月に3点発行する版元は大雑把に言って、月に200万円前後の宣伝費があることになります。たとえば新刊3点を詰め込んだヤツワリを朝日新聞に出すと、残りの予算は100万円。残額で他の中央紙の全てのカバーは難しい。ましてや地方紙迄予算は回りません。予算の計算は新刊が全て売れ、重版できることを前提にしているけれど、そんなことはあり得ない。効率一辺倒でも実際的でない。地方紙でも中央紙でも、費用と結果の関係でしょう。



○ロータリーソング「手に手つないで」

*** 次回例会予告 ***

卓話 2006-07年度地区交換学生
松永 夕加さん

「派遣学生帰国報告」

(今週の担当 松尾 慶一)

クラブ会報委員会

委員長 山下 尚登
副委員長 芹野 隆英

委員 黒木 政純・溝口 尚則
金氏嘉一郎・松尾 慶一